

令和6年12月19日 温水プール意見交換会 議事内容

区 分	参加者からの発言内容	事務局側コメント
温水プールの必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ランニングコストの中に大規模修繕に関するものが含まれていない。 ・人口が減り続ける中で町民の負担が増えていくと思うが、将来の町民が納得して維持管理できるように考えているのか。 ・人口、今後の人口推計、今後の税収の見込み等、数値的な根拠が欲しい。一人当たりのコストはいくらになるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者選定時に、大規模修繕も含めた提案をいただき、できるだけランニングコストの低い事業者を選定していく。 ・数値的な根拠について説明ができるようにしていきたい。 ・企業誘致やふるさと納税などで町の収入を増やし、ランニングコストをまかなっていきたい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・プール以外で、もっと緊急にやらなければならない事業があるのではないかと。たとえば災害時の避難所となる体育館に空調設備を設置するなど。 ・既存のプールの修繕で対応可能なのではないかと。 ・インフラ整備、狭小町道の解消などに予算を使い、使いやすい町を作るべき。町内水道管の老朽化など地震対策が優先なのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政は産業、観光、健康福祉、災害対策など各方面にくまなく対応する必要がある。 ・町長のマニフェストにおいて、子育て支援を1番に掲げ、その中でもプールの設置は1番目としている。
	<ul style="list-style-type: none"> ・全町民を対象としたアンケートを行っていただき、本当に住民に必要なものであるか、建設の是非を決めていただきたい。血税を使うわけなので、慎重に決定していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プール設置は町長選のマニフェストで1番目に掲げられた政策であり、当選により理解は得られたものと認識している。今後は地方自治制度にのっとり、議会にお諮りして進めていきたいと考えている。 ・アンケート実施の強い御意見があったことは必ず町長に報告する。

	<ul style="list-style-type: none"> ・起債の償還額、土地の借り上げ料等すべてを含んだ町の負担額を示していただきたい。維持管理費、授業の費用、建物の償還金が1億円/年の負担になると計算される。一方、玉穂プールは御殿場市が指定管理料を支払っているが、玉穂財産区が指定管理料に相当する1.8億を御殿場市に渡している。町民にこれだけの負担を負わせていいのか。 また、玉穂プールの大規模改修では床、壁、電気設備等の大規模修繕が行われ、5億円ほどの費用が掛かり玉穂財産区が負担している。それらを見通したトータルランニングコストを示すべきではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・起債の償還額の年間負担は2500万から3000万円ほどの見込み。 ・土地の購入費や借り上げ料について、申し訳ないが、交渉中のため公表できない。金額は年数千万円もかかるというような額にはならない見込み。 ・ランニングコストについて、玉穂はプールとは規模がちがうので単純な比較はできない。業者からの提案に基づき、コスト削減を図る。
	<ul style="list-style-type: none"> ・生まれてくる子どもが少ないので、小学校を1校にまとめてプールもそのものを使えばいいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の問題については今回の議題ではないが、町民の皆さんは学校への愛着があるので、決定までに時間がかかるという認識がある。
	<ul style="list-style-type: none"> ・町内で子どもが泳げる環境は必要 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・起債や交付金を利用するためにプールを建設しようとしているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プールを建設するという政策が先で、全国の事例を調べて町の負担が最小限になるように検討したもの。
	<ul style="list-style-type: none"> ・プールよりもっと優先度の高い事業をすべき、と町長に進言する職員はいなかったのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・そのような職員がいたかどうかは分からない。ただし、いつも職員は自分の意見も述べて町長と施策を協議する。その上で町長が判断した施策は、補助機関として執行するのが職員の仕事。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 区長をやっているが、うちの区ではほとんどの班は賛成。なぜ早く進まないのか、という意見もある。 ・ 子どもからもなぜ温水プールがないのか、と聞かれる。 ・ 関節悪い人には医学的にもよいし、運動することで医療費の削減ができるはず。町民の医療費が 8000 万かかるよりもプールのランニングコストの 8000 万円の方がよいのではないか。 ・ 企業の人、自衛隊員も利用すると思う。 	
施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ プールの耐用年数は何年で考えているか。基本的な素材、建物構造によりランニングコストは変動する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現時点では鉄骨造りを想定している。事業者を募集する際に作る要求水準書に書く際までに決定し、ランニングコストも踏まえた費用対効果の高いものを選定したい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他の自治体のプールは視察して研究したのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長泉町、清水町、三島市、御殿場市、小田原市、長野県など視察した。長野県では水泳授業を委託しており、そのことも学んだ。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蓄電池の設置の検討は。 ・ 夜間に使用することや災害時を考えると必要ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高額になるかと思うが検討したい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ サウナはなぜつけるか。費用対効果は。 ・ 数値的な根拠は見せたのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本計画を策定する際にコンサルタントに相談した。サウナの設置で集客力が格段にあがると伺っている。 ・ 数値的な根拠は見えていない。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在のプランを見るとプールしかない。談話室、図書室など人が来やすくなるような施設が必要ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 隣の文化会館にある施設は不要と考えた。

コスト	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用収入 3000 万を見込んでいるが、御殿場と比べて人口が少ないのに、想定が過大ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近隣のプール利用者を踏まえて想定した。 ・ 神奈川県、山梨県など近隣の市町からの利用も見込める。 ・ 魅力的な施設になるよう事業者の提案を求める。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共施設ではカーボンニュートラルを目指すはずなので、燃料を使う設備をつけるのはあり得ない ・ 建設予定地に焼却炉、地熱はない。太陽光を利用するとしても、小山町の天候効率がよくない中で、温水をどのように保つのか。 ・ 太陽熱温水器の使用や夜間電力など運用で工夫するところはいっぱいある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 熱源は電力を検討中。消防署と同じく太陽光パネルを置きたい。太陽光と電気の組み合わせとなる。環境基本計画に基づいて設計していきたい。 ・ 事業者と相談し、町の最低限の要求を伝える。その際、予算内で対応できるのであれば採用する。
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水泳授業の温水プールについて、現場の教師は承知しているのか。 ・ プールを使用する日を学校間で調整する必要があるなど、教師の負担が増えるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員会とは相談している。 ・ 先行している長野県の事例では、毎年度始めに1年分のスケジュール作成を定例業務として行っており、負担になっている様子はなかった。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ プールは男女混合か。男性の目が気になり抵抗がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 男女混合を想定していた。 ・ 男性専用、女性専用の日を作る必要があるかなどは検討していく。
スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・ 御殿場の図書館建設には2年間の検討期間を経ているのに、小山町の温水プールはテンポが速すぎるのでは。もっと慎重な検討が必要なのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 政策はスピード感をもって進め、その効果をできるだけ早く出現させたいという考えに基づいている。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画の中に議会のスケジュールも書き込むべき。そうすれば町民の皆さんが議員の方に働きかけるタイミングが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ その通りにする。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員会の関係で聞きたいこともある。今後こうした機会はあるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町長と相談する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最近の役場の建設工事は1社のみが参加しているケースが多く、公平な競争が行われているのか疑念が持たれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 物価高騰や資材不足等により、入札で手を挙げる業者は少なくなっている。

		<ul style="list-style-type: none">・たとえば最近では、体育館の空調工事に関する業者を探したが、聞いた事業者のすべてが対応不能であった。
その他	<ul style="list-style-type: none">・広報おやま5月号に「温水プールを作りますと記載があった。」既にプールを作ることが確定していると勘違いしている人がいると思うが訂正するのか。	<ul style="list-style-type: none">・広報おやまでは執行機関である町長の政策を記載したものである。